

現実から目を背けず 仲間と共に平和を守り広げていく！

～12・13南京一平和のための国際交流～

12月10日～14日「12・13南京一平和のための国際交流」に12名の仲間が参加しました。12月13日の南京大虐殺81年の国家追悼式典に参列し、犠牲になられた方々へ黙祷をおこない、哀悼の意を捧げました。

式典前日には、南京大虐殺記念館主催の夕食会にJR東労組の代表者が招待され、国内外の様々な方々と交流することができました。

2015年に開館した慰安婦をテーマにした記念館「南京利濟巷慰安所跡陳列館」を訪れ、慰安婦が制度化されていた歴史事実を目の当たりにしました。さらには、南京大虐殺の生存者である石秀英さん(93歳)から、「南京市内は火の海となり、父親や兄弟が亡くなり、苦しい生活を余儀なくされた」という貴重な体験を話していただきました。

総括会議では「現地立ち、肌で感じることの重要性」「平和研修をこれからも続けていくべき」と意見が出され、JR東労組がこれまで続けてきた平和研修の重みや、現地でサポートしてくれる方々がいて、共に学ぶ仲間がいるからこそ平和研修が実現できていることを確認しました。

歴史の事実をしっかり受け止め、二度と同じ過ちを繰り返さないために、平和の大切さを広めていきましょう。



羽越線脱線転覆事故から13年… 事故を風化することなく安全風土を築いていこう

12月25日、JR東労組本部と新潟地本の代表者は、羽越線脱線転覆事故慰霊碑に献花、黙祷を捧げました。この事故は、ダウンバーストと呼ばれる局所的な突風によって起きた事故で、予測は困難だとされています。「命」を失ってしまう事故を二度と発生させたいがりません。早めの規制実施や風速計・防風柵の整備、ドップラーレーダーの設置・活用などの対策を会社は行っています。しかし、ハード対策だけで命を守ることはできません。

感性・感覚・判断力を養い、危険と感じたら列車を止める安全風土を創り出していかねばなりません。職場の仲間と安全についてこれからも議論をしていきたいと思います。安全について一切妥協することなく、職場から安全風土を築き上げていきましょう！



第3回バス沖縄平和研修及び沖縄バス労組との連帯交流会

歴史と教訓を継承し

仲間と共に平和をつくり出す

12月18日～20日、第3回バス沖縄平和研修及び沖縄バス労組との連帯交流会を25名の仲間参加で開催しました。分会大会の成功から繋げた今回の研修は、参加者一人ひとりが問題意識を高く持ち、一体感のある研修を全体でつくり出しました。

元白梅学徒隊の中山きくさんの講演では、悲惨な野戦病院の日々について語られ、胸が締めつけられました。米軍の兵力は45万人を超え、迎え撃つ沖縄守備隊はわずか11万人のみです。しかも、その3分の1は銃も手にしたことのない現地召集者で、中学生までもが動員させられたことは、想像を絶しました。

一緒に逃げた友人に「私たちが自決しよう」と声をかけて、「きくちゃん、自決は絶対に嫌だ」という言葉に救われたきくさんは、「亡くなった人たちの無念を、生き残った者が語り継がなくては」と語ってくれました。

また、謝花さんから伊江島の戦後のたたかについて講演をいただき、リーダーとして、献身的かつ忍耐強く努力する姿勢を学びました。そして「皆さんは具体的にどうたかのか？」と私たちに強い問いかけがありました。私たちが本土でできることは、署名活動や平和集会に参加すること、そして職場へ現地の状況を報告しながら、改めてJR東

労組の沖縄研修の歴史と教訓を継承していくことです。

総括会議では「研修で感じたこと」や「平和に対する価値観」を自分の言葉で出し合いました。研修を通じて「労働者としてどう生きるのか」を確定していく過程で、平和とJR東労組運動の大切さを実感しました。

全組合員でJR東労組の再生を目指し、第4回沖縄平和研修が開催できる組織を確立し、後輩たちへ引き継いでいくことを固く決意しました。

(JRバス東北本部、JRバス関東本部発)



◆沖縄の現状

米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設の賛否を問う2月の県民投票に関し、沖縄県が不参加を表明した5市(宜野湾、宮古島、沖縄、うるま、石垣)に対して、投票の方法を「賛成」「反対」の2択から「どちらでもない」を加えた3択に増やすことを条件に参加を打診しました。

1月29日に開催された沖縄県議会本会議で、選択肢を3択にする改正案を賛成多数で可決しましたが、5市の参加条件

である全会一致にはなりません。改正を受け、うるま市は参加の意向を示したものの、他の4市は議会などに諮り判断することになっています。一方で1月24日、憲法研究者の有志131人が、新基地建設は「憲法違反」とする声明を発表しました。

基地問題は、決して沖縄だけの問題ではありません。私たちは、自然、平和、そして人権を守り抜くためにも、連帯する仲間と共に未来を切り拓きましょう!!

お詫びと訂正

緑の風691号(1月1日付)の2面、4面に一部誤りがありました。

訂正箇所 2面 JR東労組本部OB会 (誤) 古川健三会長
→ (正) 古川建三会長

4面 New Year Quiz 2019の締め切り
(誤) 1月30日(金) → (正) 1月31日(木)

お詫びして訂正いたします。